

**授業科目名/Subject**  
**日本社会**

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	クラス/担当者 Class/Instructor
国際関係学科 国際文化学科 国際交流学科 国際ビジネス情報学科	1	通年	4	服部 慶巨

**授業概要 / Outline**

授業のテーマ/Overall Theme for Course  
日本の社会システムの理解

授業のねらい/Goal

「郷に入っては郷に従え」(When in Rome, do as the Romans do.)というように、日本での生活において“When in Japan, do as the Japanese do.”であることを求められることが多々ある。そこで、日本社会のシステムを、具体的な事例を通して理解する。

授業の方法/Content

日本社会の特徴を表す概念・理論・キーワードを紹介し、社会科学視点を講義する。また、テーマにそって、参加学生の出身国についての比較・検討(主として口頭で行う)の機会を設ける。参考書やプリント、視聴覚資料などを用い、理解の助けとする。様々なメディアを通じて得られる情報を、随時紹介する。

**授業計画 / Teaching Plan**

- 第1回 シラバス授業(講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認)
- 第2回 自己紹介の構造(1)
- 第3回 自己紹介の構造(2)
- 第4回 日本の地理的条件と文化形成
- 第5回 実験演習(1)
- 第6回 文化とパーソナリティ(1)
- 第7回 文化とパーソナリティ(2)
- 第8回 文化とパーソナリティ(3)
- 第9回 文化とパーソナリティ(4)
- 第10回 文化とパーソナリティ(5)
- 第11回 実験演習(2)
- 第12回 日本(人)的発想(1)
- 第13回 日本(人)的発想(2)
- 第14回 日本(人)的発想(3)
- 第15回 日本(人)的発想(4)
- 第16回 日本(人)的人間関係(1)
- 第17回 日本(人)的人間関係(2)
- 第18回 日本(人)的人間関係(3)
- 第19回 日本(人)的人間関係(4)
- 第20回 日本(人)的人間関係(5)
- 第21回 実験演習(3)
- 第22回 日本の家族(1)
- 第23回 日本の家族(2)
- 第24回 日本の家族(3)
- 第25回 日本(人)的エスノセントリズム(1)
- 第26回 日本(人)的エスノセントリズム(2)
- 第27回 日本(人)的国際観(1)
- 第28回 日本(人)的国際観(2)

第29回 実験演習(4)  
第30回 まとめ

## ■ 教材 / Teaching Materials

教科書/Textbooks

著者名/Authors	服部 慶亘
書名/Title of books	補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	ISBN4822602389
備考/Notes	

必携参考書/Required reference books

プリント配布 / Handouts

推薦参考書/Recommended reference books

なし / Nothing

## ■ 履修条件 / Prerequisites

留学生。旧カリキュラム「日本の社会I」として履修する者は前期第1回講義に、「日本の社会II」として履修する者は後期第1回講義に、必ず出席すること。

## ■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点で評価する。

## ■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、講義には積極的に「参加」してほしい。講義連絡などにWebCT(<http://webct.ir.nihon-u.ac.jp:8900/>)を使用する。

## ■ 連絡先 / Contact Information

服部 慶亘 /